

平成27年青森県人口動態統計(概数)の概況 ＜概要版＞

調査結果のポイント

1 自殺者数・自殺率 過去最多の平成15年から半減

自殺者数 H26: 270人 → H27: 267人(▲3人) 自殺率 H26: 20.5(12位) → H27: 20.5(10位) (同数)

(※H15: 576人)

2 合計特殊出生率 3年連続で上昇

H25: 1.40(37位) → H26: 1.42(36位)(0.02ポイント増) → H27: 1.43(36位)(0.01ポイント増) ※全国平均H27: 1.46

3 死亡数・死亡率 死亡総数は増加

死亡総数 H26: 17,042人 → H27: 17,149人(107人)

死亡率 H26: 12.9(7位) → H27: 13.1(5位)

○悪性新生物による死亡数 H26: 5,002人 → H27: 5,035人(33人) 死亡率 H26: 379.5(2位) → H27: 385.8(2位)

○心疾患 H26: 2,584人 → H27: 2,582人(▲2人) 死亡率 H26: 196.1(13位) → H27: 197.9(12位)

○肺炎 H26: 1,742人 → H27: 1,765人(23人) 死亡率 H26: 132.2(7位) → H27: 135.2(5位)

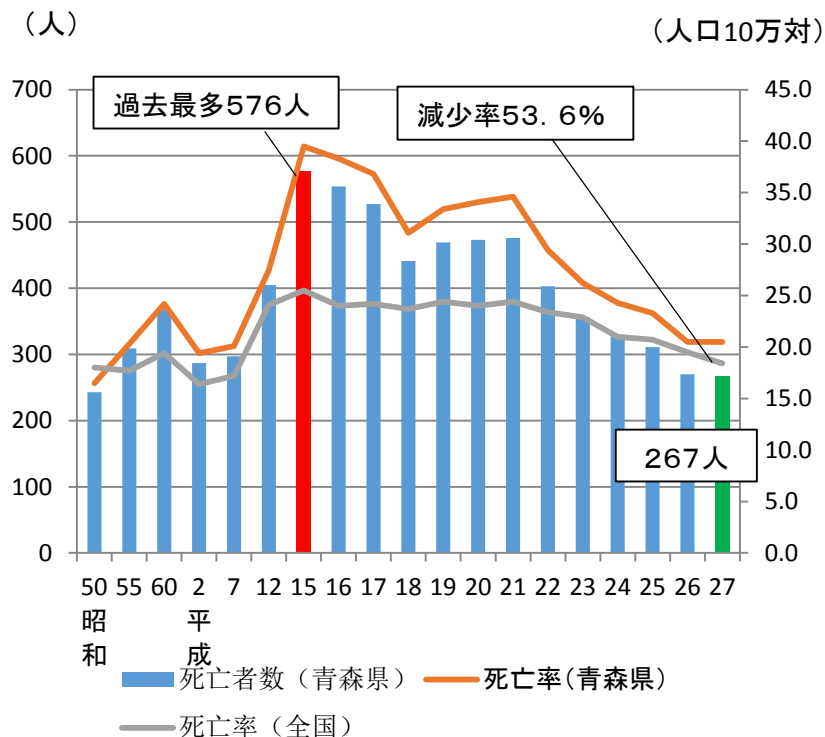
○脳血管疾患 H26: 1,746人 → H27: 1,704人(▲42人) 死亡率 H26: 132.5(6位) → H27: 130.6(6位)

4 乳児・新生児・周産期死亡率(5年単位比較) 長期的には減少傾向

	乳児死亡率	新生児死亡率	周産期死亡率
平成18～22年	<u>2.65</u>	<u>1.58</u>	<u>5.03</u>
平成23～27年	<u>2.16</u> (▲0.49)	<u>1.13</u> (▲0.45)	<u>3.79</u> (▲1.24)

○自殺者数は過去最多の平成15年から半減

- ・平成26年:270人 → 平成27年:267人(▲3人)
- ・平成15年(本県の自殺者が過去最多):576人 → 平成27年:267人(▲309人、▲53.6%)
- ・40~64歳男性が、平成15年の276人 → 93人(▲183人)に減少
- ・自殺率(人口10万対)平成26年:20.5 → 平成27年:20.5(同数、全国12位→10位)



【県の取組】

1 心のヘルスアップ事業

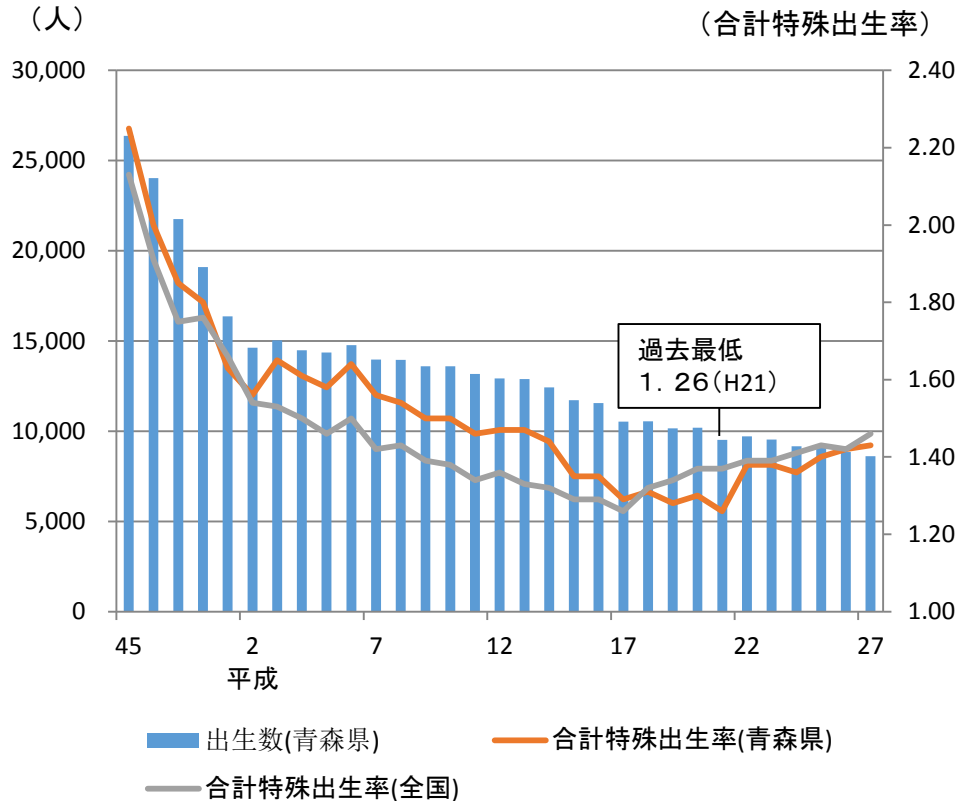
- ・青森県自殺対策連絡協議会の開催
(県内関係機関及び庁内関係部局との連携強化)

2 自殺対策重点化事業

- (1) ゲートキーパーの輪を広げよう強化事業
 - ・ゲートキーパーの育成
- (2) モデル市町村における高齢者うつスクリーニング事業
 - ・モデル市町村を選定し、高齢者のうつスクリーニングを実施
- (3) 自殺未遂者支援対応力向上事業
 - ・モデル地区での支援モデルの構築
- (4) 自殺対策基盤強化
 - ・県及び各保健所における官民連携協働会議の実施
 - ・民間団体ネットワークの活動充実

○合計特殊出生率が3年連続で上昇

・平成25年:1.40 → 平成26年:1.42(0.02ポイント増) → 平成27年:1.43(0.01ポイント増)



【県の取組】

1 あおもり出会い協働プロジェクト事業<28新規>

- ・民間と協働での結婚応援や、結婚したい男女の出会いの場づくりを推進

2 特定不妊治療費助成事業

- ・特定不妊治療を受ける夫婦への経済的支援として、治療費を一部助成

3 満足度の高い保育環境推進事業

- ・保育所や認定こども園等において体調不良児を一時的に保育するためのスペースを確保するための改修整備や、職員が病児保育研修等に参加するための代替職員雇上経費を補助

4 家庭福祉対策教育支援貸付事業<28新規>

- ・大学進学にあたり必要となる入学金等の一時的費用の捻出が困難な世帯や、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を貸付

○死亡総数は増加

死亡総数平成25年:17,112人 → 平成26年:17,042人(▲70人) → 平成27年:17,149人(107人)

・うち悪性新生物 平成26年: 5,002人 → 平成27年: 5,035人(33人)

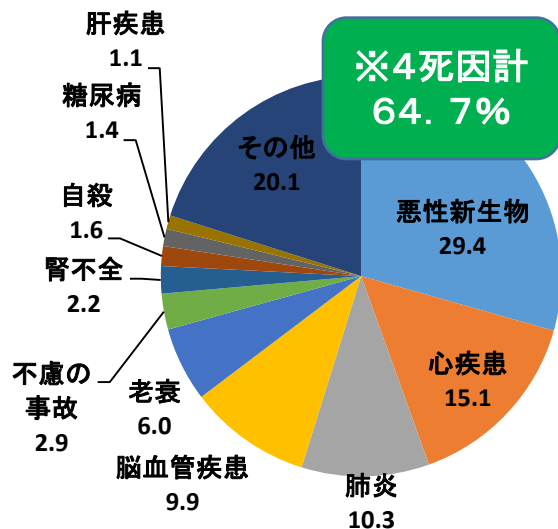
心疾患 平成26年: 2,584人 → 平成27年: 2,582人(▲2人)

肺炎 平成26年: 1,742人 → 平成27年: 1,765人(23人)

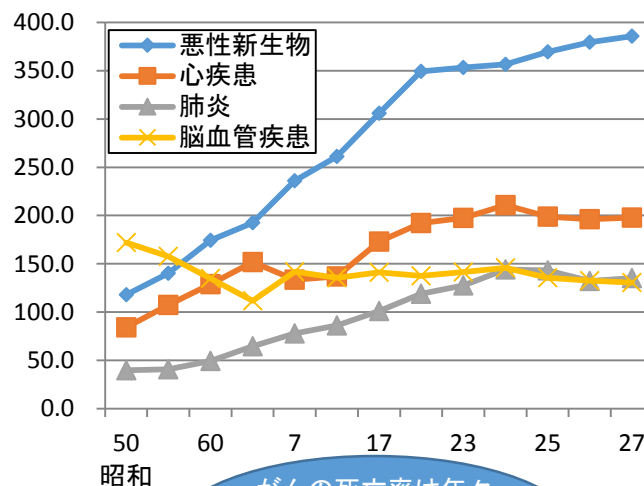
脳血管疾患 平成26年: 1,746人 → 平成27年: 1,704人(▲42人)

・死因は①悪性新生物②心疾患③肺炎④脳血管疾患の順 4死因で全体の64.7%を占める

○平成27年死因別構成比



(人口)



がんの死亡率は年々増加してきており、がん対策は引き続き重要な課題

【県の取組】

1 健やか力総合推進事業

- (1) 健康づくりのための基盤整備事業
 - ・「健やか力推進センター」を活用し職域における健康リーダーを養成
- (2) 「健やか力」応援事業
 - ・働き世代を対象にウォーキング実践や、バランスの良い食事の普及を行う
- (3) 煙からマドル環境整備事業
 - ・若者の禁煙サポートや、受動喫煙防止対策への意志表示カードを作成する

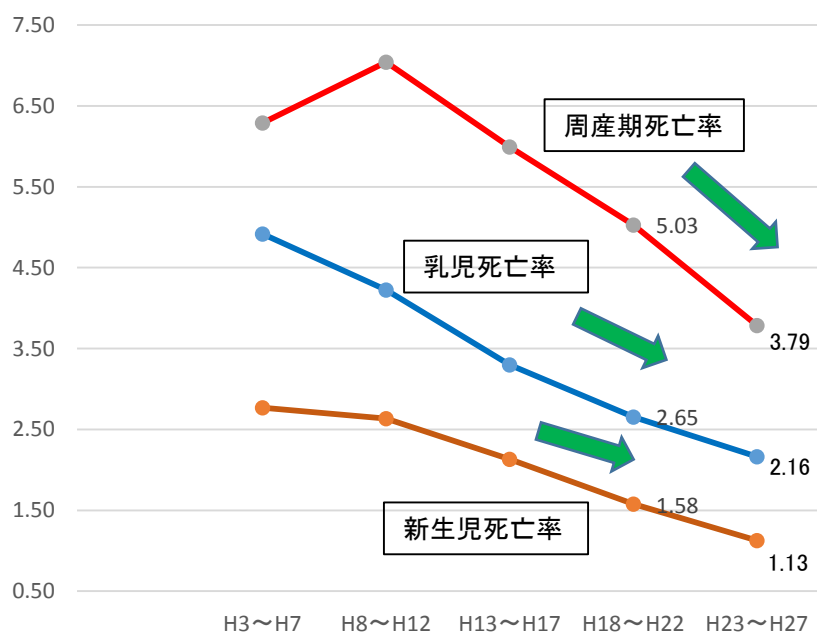
2 がん登録データの活用によるがん検診精度管理モデル事業 <28新規>

- (1) がん登録データの活用
 - ・地域がん登録データとがん検診データの突合及び突合結果の調査・分析
- (2) がん検診の精度管理研修会
 - ・市町村に対し、がん検診の精度管理のための技術的支援を行う研修会を実施

○乳児・新生児・周産期死亡率は長期的には減少傾向

	平成18～22年		平成23～27年
乳児死亡率	2.65	→	2.16 (▲0.49)
新生児死亡率	1.58	→	1.13 (▲0.45)
周産期死亡率	5.03	→	3.79 (▲1.24)

乳児・新生児・周産期死亡率推移(5年単位)



【県の取組】

1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター(平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森周産期医療システム」の運用

- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター及びそれに準じる施設を中心とした周産期医療体制による、24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・新生児搬送や新生児集中治療管理室(NICU)の後方支援病室確保も含めた新生児医療の提供が可能な体制

2 ハイリスク妊産婦への支援強化

- ・周産期母子医療センターから遠方にあるハイリスク妊産婦が早期から安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援体制を整備
- ・総合周産期母子医療センター(県立中央病院)を利用する患者・家族のための待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)の施設機能の充実